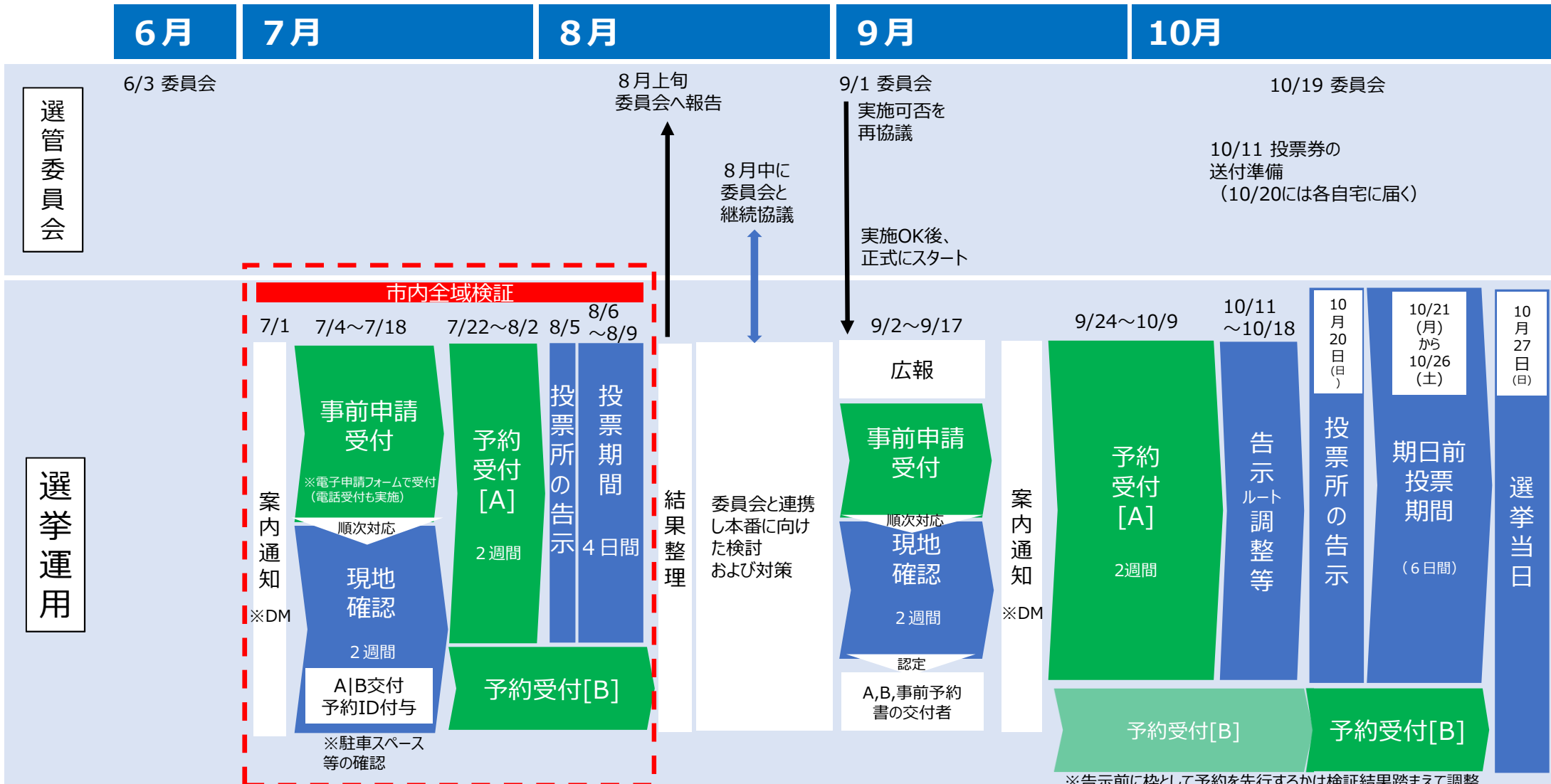


令和 6 年(2024年)6月25日
政策イノベーション部科学技術戦略課

オンデマンド型移動期日前投票所・市内全域検証

検証概要 (1)

●全体スケジュール案



オンデマンド型移動期日前投票所・市内全域検証

検証概要（2）

●目的

- ・令和6年1月の実証では、一部エリアでの実施だったため、改めて市内全域を対象に検証する。
- ・また、システム面、車両運行面、投票運営面の確実な実施を確認する。
- ・対象者ニーズを把握する。（サービス希望有無（希望の場合はAかBか）、全域分布） ※本番での想定利用者の目安算出

●実施概要 ※基本的には本番同様のプロセスを実施

	検証時	本番
エリア	市内全域	←同様
対象者	郵便等投票対象者および要介護度3、4	←同様
サービス	AおよびB ※B移送先は既設期日前投票所も検討	←同様
投票期間	4日間を想定（ただし、事前申請、予約状況に応じて調整）	←最大6日間
車両台数	A、Bともに2台（他に予備車1台）	←同様 ※検証結果で増台検討

●主な検証ポイント

市民周知（広報）

対象者に広く周知し認知してもらう。

→検証では対象者個別に直接案内通知（DM）を郵送する。

事前申請、現地確認

- ・A、Bニーズ把握
- ・A駐車スペース確認（マンション等は駐車場利用許可を得ているか等も確認する。）

予約受付

ネット予約の利用状況を把握。（電話での支援も実施）

投票当日対応

- （共通）
 - ・AまたはB車両の乗降車（所要時間、利便性等）
 - ・投票行為（所要時間、利便性等）
- （Aサービス）
 - ・自宅駐車スペースへの駐車（駐車自体、周囲の環境確認等）
 - ・地点間移動の運行（遅延、事故等）
- （Bサービス）
 - ・最寄り投票所の駐車地点から投票所までの移動および投票所内での行動
 - ・送迎移動の運行（遅延、事故等）

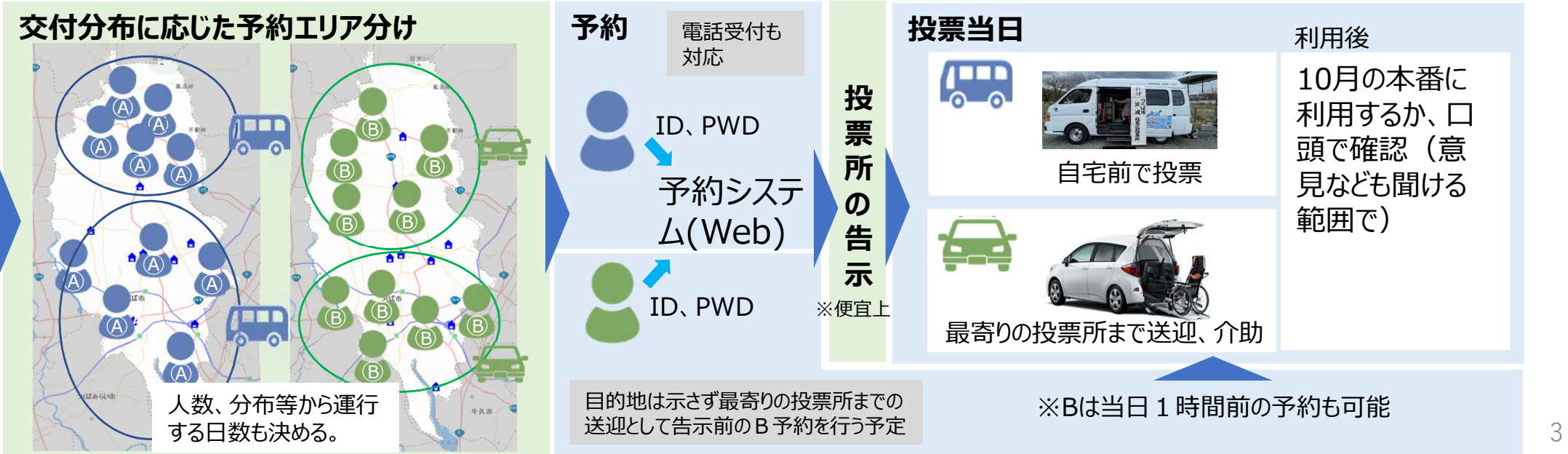
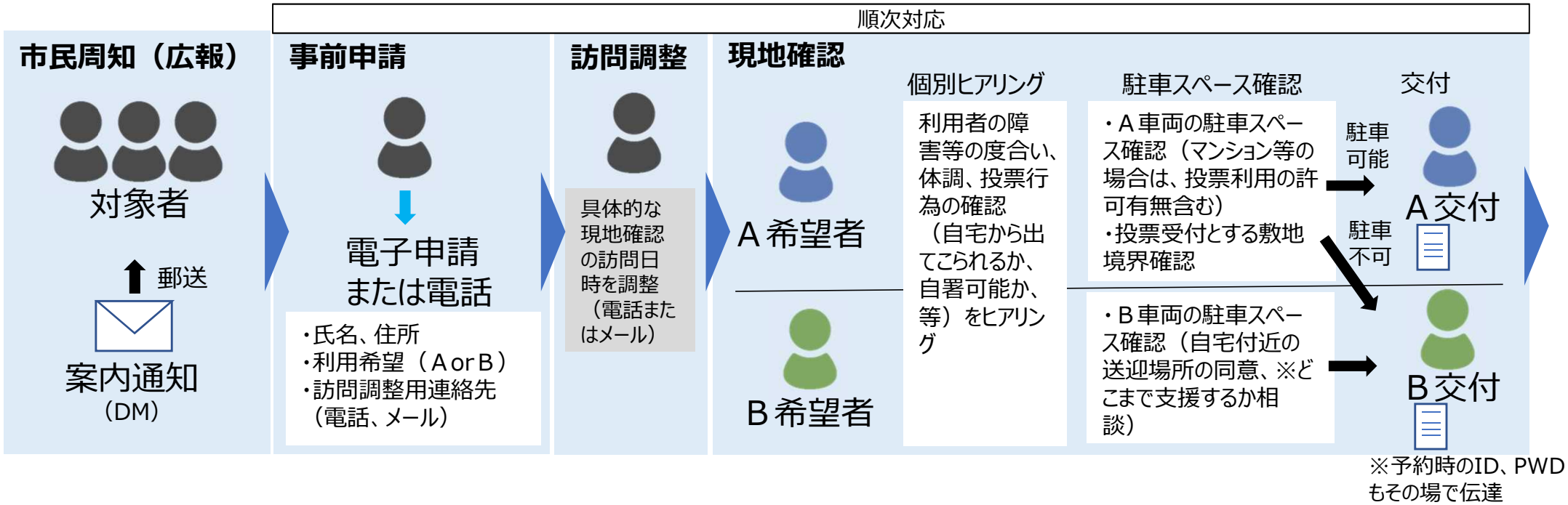
不測の事態への対応は、事前に洗い出し、検証で確認できる点を事前に整理する。

- 例えば台風による当日運行中止時の連絡確認
- ・A|B予約確認書交付時に利用規約または同意書のようなものを取り交わす。
 - ・当日連絡がつく電話を確認する。
 - ・当日朝、検証として実際に電話する。等

オンデマンド型移動期日前投票所・市内全域検証

検証概要（3）

● 検証の主な流れ



オンデマンド型移動期日前投票所・市内全域検証

B（移動投票所送迎）サービスと選挙タクシー券助成との比較

Bサービス

選挙タクシー券

予約

- ・利用時は、ネットまたは電話
- ・当日 1 時間前まで予約可能
- ・空き時間帯を自分で確認して予約可(Web)

- ・利用時は基本、電話
- ・複数のタクシー事業者から利用できる

車両



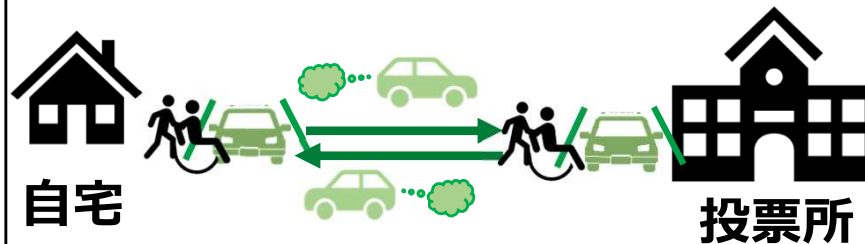
福祉車両



通常の車両

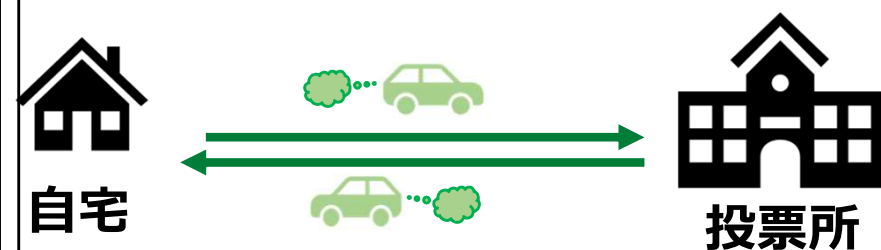
サービス

移動送迎及び介助者支援



自宅から車両までと駐車場から投票所の移動の介助支援

移動送迎のみ支援



- ・福祉車両も使用可
- ・介助者は本人が手配（自己負担）